

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①町内会に加入し、回覧板でホームで行われる行事への参加を呼びかけている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①運営推進会議を年6回開催し、地域包括支援センター職員の出席が確認できた。 ②会議で出された意見として、ゴミ出しの件で徹底するようにした。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①区の介護保険担当者と認定更新の時などほぼ毎月連絡を取る機会があり、空き現況等情報交換を行っている。 ②市町村主催の介護関係の講習会に出席し制度の理解や連携を図っている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	①利用者の家庭環境が多様であり、家族会の開催はしていない。 ②苦情相談窓口を設置して、苦情や要望を受け止める仕組みを持ち、出された事柄に対し改善に努めている。 ③家族に利用者のレクリエーション活動時の写真を送付し、近況報告をしている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人が変更になって2年になるが、地域との交流にも力を入れ、地域との交流が深まりつつある様子が伺えた。運営推進会議の運営規定を満たしており、定期的な開催を行っている。市担当部署との連絡・相談等についても日常的に行っており、生活保護の方も多いが、家族との関係も重視していく姿勢がみられた。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。